

1. 所長による分析（業務運営の総括）

（1）今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

- ① 各指標に対する取組
当所では、求人充足支援と雇用保険受給者の早期再就職割合の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとしました。求人充足支援については、出水所管内の求人状況や求職者の相談を基にした求人票の作成ポイント等の求人充足のための情報を共有することと、ハローワークで行っている取り組みを周知し、事業所との連携を高めることを目的とする「求人者支援セミナー」を令和7年10月28日に開催し、4事業所が参加しました。令和8年2月18日には「第2回求人者支援セミナー」を初めて集合型とオンラインのハイブリッドで開催し、出水所への来所が6事業所、オンラインで4事業所の合計10事業所が参加しました。セミナーの参加者から「いつも作成している求人票を見直すきっかけになった」「今回の内容を踏まえてより魅力的な内容となるよう工夫したい」等の評価をいただいています。雇用保険受給者の早期再就職割合については、雇用保険受給者に対して、事業所ミニ説明会への参加や応募前職場見学を積極的に勧め、早期応募を呼びかけました。
- ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組
当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、紹介部門の若手職員を講師として、職員に対して職業紹介業務についての研修を実施しました。加えて、ハローワークの職業相談等においては、各種労働法の知識が必要になることから、川内労働基準監督署に講師依頼して「労働基準法の制度理解促進研修会」を実施しました。

（2）前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

- ① 求職者マイページを活用したオンラインサービスの普及・定着
概ね59歳までの求職者（ミドルシニア世代）に対し、従来の来所を前提としたサービスと求職者マイページを活用したオンラインサービスを組み合わせた支援を行うことにより、マッチング機能の強化に繋げていくことを目的にして、「令和7年度求職者マイページ活用セミナー」を合計3回開催しました。セミナーのテキストには、オンラインハローワーク紹介についても詳細に掲載されており、求職者マイページを活用したオンラインサービスのさらなる利用の促進に繋がり、オンラインハローワーク紹介の実績も上がっているところです。
- ② 求人者訪問サポート
求人を提出している事業所からの訪問リクエストをオンラインで受け付け、求人者のニーズを事前に把握することにより、よりきめ細やかな求人者サービスの提供を行い、求人の早期充足促進や求人事業所の満足度を高めていく求人者訪問サポートの受付を令和7年6月から開始しました。求人者訪問サポートを周知したことで、求人者からの訪問依頼の電話が増加するという効果もありました。
- ③ 訪問事業所紹介コーナー
事業所訪問時、担当者から聴取した事業所のアピールポイントや求職者へのメッセージについてまとめた事業所紹介のチラシを作成し、所内玄関ロビーにて掲示する「訪問事業所紹介コーナー」の取り組みを令和7年9月から開始しています。令和8年度からは、ハローワーク出水のホームページの「訪問事業所紹介コーナー」にもチラシを掲載してします。チラシには、事業所訪問日、事業内容のご紹介、事業所注目ポイント、ハローワーク出水からのコメント等が記載されています。また、チラシの右上には事業所のホームページと求人情報を閲覧することができる二次元コードも貼り付けてあり、事業所訪問で得られた事業所の情報が読みやすくまとめられた内容になっています。

（3）その他の業務運営についての分析等

当所の相談室等で開催している事業所ミニ説明会については、玄関ロビーに専用コーナーを設け、事業所ミニ説明会予定表を掲示及び配架しており、参加事業所が作成したチラシも配架しています。事業所ミニ説明会予定表を掲載している求人情報誌「求人情報いずみ」（毎月2回発行）は、紙媒体で所内配付するとともに、管内の合計17施設において紙媒体で配布し、ハローワーク出水のホームページと管内の自治体のホームページにも掲載しており、管内一円に事業所ミニ説明会の開催を周知しています。令和7年度から玄関ホールに設置されたデジタルサイネージでも、事業所ミニ説明会予定表と事業所が作成したチラシを掲載しています。このような取り組みの効果もあり、令和7年度の事業所ミニ説明会の参加事業所数、開催回数、参加人数ともに、令和6年度より増加しています。令和8年度からは、事業所ミニ説明会の開催を案内する所内での放送案内も行っており、来所されている方に事業所ミニ説明会の開催を周知しています。

（4）今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

求職活動方法が多様化していることもあり、ハローワークを利用する方が減少しています。多くの方にハローワークを利用していただくため、合同企業説明会等に参加して求職活動におけるハローワークの支援内容について周知します。また、「訪問事業所コーナー」を設置したり、職業訓練の募集情報を掲載するなどハローワーク出水のホームページを充実させると共に、自治体のホームページにハローワークのサービスメニュー等を掲載していただき、ハローワークのサービスメニューの周知に努めます。

2. 特記事項

人材不足分野の業界の魅力発信の支援のために当所の玄関ロビーに設置している人材不足分野のPRコーナーにおいて、ハローワーク紹介で採用された方に支度金制度等がある求人情報の一覧表を掲示しています。

3. 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4. マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険受給者 早期再就職割合	満足度 （求人者）	満足度 （求職者）	⑧人材不足分野の 就職件数	①生活保護受給者等の就職率						
令和7年度目標	1,773	1,615	38.2%	90.0%	95.0%	500	69.8%						
令和7年度実績	1,605	1,472	33.7%	88.1%	88.9%	468	96.3%						
目標達成率	90%	91%	88%			93%	137%						

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※ 就職件数は「（従来の）紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「（従来の）紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。